

(記入例) (様式Ⅱ)

その1

| 履 歴 書 | | | | | |
|---|---|-----------------|-------------------------|-----------------------------------|------|
| ふりがな 氏 名 | だいがく たろう 大 学 太 郎 | <div>男</div> ・女 | 現 住 所 | 〒****-***** 大分市×××●丁目●番 地●● | (写真) |
| 生年月日 (年齢) | 昭和●●年●●月●●日 (●●歳) | | 連 絡 先 電話番号 E-mail | 0**-****-***** *****@***.**.jp | |
| 学 歴 | | | | | |
| 年 月 | 事 項 | | | | |
| 昭和●●. ● ●●. ● 平成●●. ● ●●. ● ●●. ● | 〇〇県立〇〇高等学校 卒業 〇〇大学〇〇学部〇〇学科 入学 同 上 卒業 〇〇大学大学院〇〇研究科 入学 同 上 修了 | | | | |
| 学 位 ・ 免 許 ・ 資 格 | | | | | |
| 年 月 | 事 項 | | | | |
| 平成●●. ● ●●. ● ●●. ● | 学士 (〇〇学) (〇〇大学) ※ 学位を必ず記載してください。 〇〇免許 (第〇〇〇〇〇〇号) 平成3年3月までは〇〇学士, 〇〇博士, 博士 (〇〇学) (〇〇大学〇〇第〇〇〇号) それ以降は学士 (〇〇), 博士 (〇〇) と なりますので注意願います。 | | | | |
| 職 歴 | | | | | |
| 年 月 | 事 項 | | | | |
| 平成●●. ● ●●. ● ●●. ● | 〇〇大学〇〇医学部〇〇学 助手 〇〇研究所 研究員 〇〇大学〇〇医学部〇〇学 准教授 現在に至る | | | | |
| 賞 罰 | | | | | |
| 年 月 | 事 項 | | | | |
| 平成●●. ● | 日本〇〇学会〇〇賞 受賞 | | | | |
| 上記のとおり相違ありません。 | | | | | |
| 令和●●年●●月●●日 | | | | | |
| 氏 名 大 学 太 郎 | | | | | |

注) 1 年齢は, 任用予定年月日で記載してください。
2 「学歴」欄は, 高校卒業以後のすべての学歴について記入してください。
3 「職歴」欄は, 職歴のすべてについて記入し, 職名, 地位等についても明記してください。
4 「写真」欄は, 大分大学教員の場合は不要です。

(様式Ⅱ)

その 2

氏 名 大 学 太 郎

[illegible]

業 績 目 録 学位論文, 原著, 症例報告, 総説, 著書等, 主要学会での発表の別に,

それぞれまとめ, 印刷してください。

氏 名 大 学 太 郎

| 類 別 | 番号 | 著者名(発表者名) 全員の氏名を記載順に記入してください。 学位論文(題目・誌名・巻・初頁～終頁・年・インパクトファクター), 原著(題目・誌名・巻・初頁～終頁・年・インパクトファクター・査読の有無), 症例報告(題目・誌名・巻・初頁～終頁・年・インパクトファクター・査読の有無), 総説(題目・誌名・巻・初頁～終頁・年・インパクトファクター・査読の有無), 著書等(分担項目名・書名・初頁～終頁・発行所・年・査読の有無), 主要学会での発表(題目・会名・年; シンポジウム・特別講演等の別) |
|------|----|---|
| 学位論文 | ○ | *大学太郎. 〇〇〇〇〇における△△△△の形態計測的研究 —××××学的所見との関係— 臨床神経 20:31-39, 1982 |
| 原著 | 1 | *大学太郎. 〇〇〇と△△△△との関連. 九州神経精神医学 7: 263-266, 1992 査読: 有無 |
| | 2 | *Daigaku T., Oita J., Monka S. Stemlin he.....of DNA in he..... carcinoma. Am. J. Surg. Pathol. 10: 789-794, 1994. (IF:〇〇) 査読: 有無 |
| | ③ | #Oita J., #Daigaku T., Monka S. Human uu..... imm.....RNA.....factor.... cancer cells. J. Cancer 19: 452-458, 1995. (# equal contribution) (IF:〇〇) 査読: 有無 |
| | ④ | Oita J., Monka S., *Daigaku T. Abnormal hu..... imm..... to mu.....Stimu.... in with lung cancer. Cancer 69: 2252-2257, 1996. (IF:〇〇) 査読: 有無 |
| | ⑤ | *大学太郎. 〇〇〇〇からみた薬剤の△△と××法: 髄膜炎(〇〇性・△△性・×××性). 医学と薬学 22: 801-809, 2001. 査読: 有無 |
| 症例報告 | 1 | *大分二郎, 大学太郎, 文科省一. 〇〇〇〇を認めた△△△△硬化症の2例. 神経内科 31: 104-108, 1993. 査読: 有無 |
| 総説 | 1 | Oita J., Daigaku T. 〇〇性△△炎. ×××科ハンドブック(山田◇◇編), 150-250, 南江堂, 東京, 1992. 査読: 有無 |
| | ② | *大学太郎, 大分二郎. Port..... sh..... Pit... and Comp... in the Dia... Disease (ed. by N. J. Ly..... and M. Ma.....), 475-484, Georg Thieme Verlag, N Y, 1993. 査読: 有無 |
| 著書等 | 1 | Daigaku T., Monka S. Mucosal..... against bacterial in the nose. VIV World Congress ofgy Head and Neck Surgery, Round Table, 1989, Madrid, Spain. 査読: 有無 |
| 学会発表 | 1 | 大学太郎, 山田花子, 文科省一 〇〇〇〇〇領域レーザーサーミア臨床の△△△△に関する研究. 第×回レーザーサーミアシンポジウム 1995. 8. 犬山市. |
| | 2 | 大学太郎, 〇〇〇〇〇における△△△△△と×××××の変動について. 第〇〇回臨床△△学会総会 1998. 10. 千葉市. 一般演題 上記ほか〇〇回 |
| その他 | 1 | 大分二郎, 大学太郎, 文科省一. 〇〇〇〇を行う△△△△システムの検討. 神経内科 31: 104-108, 1993. |
| | | (全ての業績) 原 著 7 7 編 (和文 5 0 編, 内ファーストオーサー 1 7 編) (欧文 2 7 編, インパクトファクター計〇〇点) (内ファーストオーサー 8 編, インパクトファクター計〇〇点) (内コレスポ ンデ ィ ン グ オーサー 2 編, インパクトファクター計〇〇点) |
| | | 症例報告 1 0 編 (和文 5 編, 内ファーストオーサー 2 編) (欧文 5 編, インパクトファクター計〇〇点) (内ファーストオーサー 1 編, インパクトファクター計〇〇点) (内コレスポ ンデ ィ ン グ オーサー 0 編, インパクトファクター計〇〇点) |
| | | 総 説 2 5 編 (和文 1 5 編, 内ファーストオーサー 7 編) (欧文 1 0 編, インパクトファクター計〇〇点) (内ファーストオーサー 8 編, インパクトファクター計〇〇点) (内コレスポ ンデ ィ ン グ オーサー 1 編, インパクトファクター計〇〇点) |

| | | |
|--|--|--|
| | | <p>著 書 等 3 0 編 (和文 2 0 編, 内ファーストオーサー 1 5 編) (欧文 1 0 編, 内ファーストオーサー 5 編)</p> <p>そ の 他 2 編 (和文 2 編, 内ファーストオーサー 1 編) (欧文 0 編, 内ファーストオーサー 0 編)</p> <p>シンポジウム, 特別講演等 2 5 回 (内トップネーム 2 0 回)</p> <p>一 般 演 題 国際学会 3 0 回 (内トップネーム 2 5 回) 国内学会 5 0 回 (内トップネーム 3 9 回) 地方学会 1 5 回 (内トップネーム 1 2 回)</p> |
|--|--|--|